



## 第2回 日本公認心理師学会学術集会 山口大会

【ウェブ開催 市民公開講座・対談(視聴無料)】

オンデマンド配信公開期間(どなたでも視聴できます)

2022年12月11日(日)~2023年1月10日(火)

大会長：梶本俊哉

(山口県公認心理師協会会長・宇部フロンティア大学)

大会テーマ「多様性と協働 その先へ」



山口県公認心理師協会30周年記念

【市民公開講座】



坂本真佐哉(神戸松蔭女子学院大学)  
「仲良くなるための心理学」



【概要】人と仲良くなるのに理屈は関係ないし、「技術」などもってのほか、と考える人も多いでしょう。私も賛成です。日常の人間関係はそれが自然で好ましいと思います。とはいえ、職業上の人間関係では適度な距離やコミュニケーションのあり方について眺める視点や知識などが役に立つかもしれ

れません。コミュニケーションとは不思議なもので、例えば「今日の味噌汁おいしいね」と伝えたものが言葉通りに伝わるとは限りません。心から「おいしい」と思って発した言葉に対して、受け手(聞き手)が「何かうしろめたいことがあるのか」などと勘ぐってしまい、トラブルに発展してしまうこともあるでしょう。このようなコミュニケーションの特徴について、私自身が心理療法やカウンセリングの理論や実践から学んだことについてお伝えしたいと思っています。

【市民公開対談】

「語りたくなる物語 聴きたくなる物語」

語り手: 万城目学(小説家)

2006年に『鴨川ホルモー』でデビュー。小説作品に『鹿男あをによし』『プリンセス・トヨトミ』『とっぴんぱらりの風太郎』『バベル九朔』『ヒトコブラクダ層ぜっと』、エッセイ作品に『ザ・万歩計』『ザ・万遊記』『ザ・万字固め』『べらぼうくん』『万感のおもい』などがある。



聴き手: 梶本俊哉(大会長)

【概要】「物語を創作し、語る専門家(小説家)」と「物語を聴き、共にする専門家(心理カウンセラー)」の対談です。語り手、万城目学の新刊の小説『あの子とQ』(新潮社)をはじめとする物語の創作秘話が、旧知の仲の聴き手と共に「語りたくなる、聴きたくなる物語」に…なるのかどうか、どうぞご期待ください。(なお、即興の対談につき、対談の内容は話の赴くまま、その場に心地よく逸脱することがあります。)



← 第2回山口大会ホームページ

市民公開講座・対談は、12月11日以降に第2回日本公認心理師学会学術集会 山口大会のホームページにてご視聴いただけます。

主催：一般社団法人 日本公認心理師協会  
山口県公認心理師協会

後援：法務省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省  
山口県・山口県教育委員会・山口県医師会